

## 凌泳の彌栄を祈りて

藤 井 正 太 郎

六甲の緑に囲まれて其間を真紅のキリシマの花が点綴する学園に毎年五月頃になると凌泳の集いがある。遠近の旧知新人皆喜に顔を綻ばせて山を登つて来て楽しい午後の一ときを過す。今年も例に依て古林学長の御話に始まり先輩諸君の感想談も面白く現役泳人の泳始めもありて時の移るを知らない。これこそ私の楽しい年中行事の一つである。私は屢々色々の泳の会に招かれるがよく整つた会、そして永きに涉りて消長なく続いて居る会、就職の事まで話に花が咲き旧人新人の連絡の機能を發揮して居る会はあまり無いのである。

今年も行て見ると正門の下の方に広く占められて居た米国の住宅群が其花園を残して跡も無く取り払われ遠く海の方まで目を遮るものも無い広場になつて居る。此所は近く総合大学の敷地として学園の大発展が約束されて居るとの事、かくてこそ名実共に比類なき天下第一の学園が出現することであろう。そして此山上の美しいプールこそ凌泳の本拠であり先輩後輩修養の道場である。

其昔会の客員であつた小生も永き年月の間いつしか一家の様に感ぜられ、今は足も軽くプールや会堂に上つて行ける様な仕合を喜んで居る。そこで此会に斯くも良き機構を作つて円滑な運営を進められる役員の方々の一方ならぬ御努力を心から感謝して会の彌栄を祈るものである。

## プール・サイドにて

水泳部々長 法学部教授

山田 幸男

初夏のプール・サイドに立つていると、ふと若かりし日への郷愁にかられることがある。もう二十年も昔になる。毎日放課後プールに出た時に、僕の一日がはじまったのだつた。今の水泳部員で云うと、S君・K君か、よくてO君くらいのフリーの泳者だつたのだが、若き日の僕の毎日は、水泳ではじまり、そして水泳部生活でくれたのだつた。夜になつても、上級生からの水泳の指導はつづいた。寮生活はすべて運動部単位だつた。まつたく、その頃の僕には水泳部生活以外には何もなかつた。水泳さえやつていればよい、と心から信じていた。

僕だけがこのように単純素朴だつたわけではない。ほとんどの学友がそうだつた。学友らの水泳部生活の延長が、海軍士官の生活となり、その多くが沖繩で散つたのは痛ましいかぎりである。しかし、僕をふくめて、その頃の水泳部員は、日本の将来を明るくみていたから、その点では幸せだつたといえよう。

今の水泳部の諸君は、決して単純素朴ではない。すでに悩みを知っているようだ。メツチエンの悩みなら、いつの代でも同

じだが、日本の将来の不可予測性から来る悩みは深刻であろう。僕は、何もいうことが出来ない。ただ、生きる以上は充実した青春を生きて欲しい。そのために水泳部生活はきつと役立つと思ふ。

## 凌泳会の諸君へ

北村 五良

水泳部の諸君に長い間ご無沙汰して居りますので、この機会に短信をよせて、お詫びと共に近況を報告させてもらいます。

旧制時代から、二つ三つ部に関係しましたが、その最後には水泳部と陸上競技部が残つて居りましたところ、水泳部は古林教授に、陸上部は尾上法学部教授に替つていただきましたから、相当の時間が経つて居ります。どの部についても同じことですが、表面上は部から退きましても気持はどうしてもあとに残りまして、折にふれ事により部の状態が心の中を往来するものも止むを得ません。スポーツ・ニュースを新聞紙上で見るのも、そんなわけで、わたしには一つの特長な目的があるからです。たゞ漫然と見るものではありません。勿論内外における記録の更新記事などは非常に興味をおぼえるところです。それはとに角、

わが大学に於ける体育方面の状態は、わたしにとつては、極めて立派に成長しつゝあるようで、まことにうれしく思っています。それにつけて思出すのは、昭和初期の頃でしたか、水泳ならびに陸上競技とも学内大衆に広く一般化しなければならぬと云い出して、大分当時の部員諸君を困らせたということであります。一般大衆が体育競技をしているという事実を前提としない選手などということは、よく分らない、というわけでした。人的にも物的にもいろいろ事情があり、簡単なことでないのを充分承知し乍ら、無理を云うたのであります。あれもこれも凡ては、昔の話になります。第二次世界戦争によつて部員が少なからずついに帰つてこないようになったのは、最も悲痛なことであります。それらの諸君の面影は、いまもなおわたしの目にうかびます。次の時代の人々はこのような事実を決しておろそかに思つてはいけません。

わたしは、一九一九年に旧制大学の前身校である神戸高等商業学校専任講師となり、引続いて同じ学校で研究と教授につとめるの光榮を与えられ、去る三月末を以つて退職することになりました。これは全く社会ことに学内の方々の御指導と御援助の賜でありまして、この点深く感謝いたして居ります。ところが、昨年春の頃に、新らしく経済学部だけで四年制大学を開設したいから参加協力しないか、という話がありましたので、友

人同僚などとも相談した結果、この申込を受諾することにしました。そして、本年四月一日には、大阪市阿倍野区に桃山学院大学経済学部が設立されました。それで、わたしは現在この大学の教授であります。どうか従来同様のやそれ以上に、今後もよろしくおつきあいの程を願つておきます。

部のOBにも現役にもだんだんと馴染がうすくなるのは、やむを得ませんが、わたしは心から諸君の御多幸を祈ります。そして、凌泳会が益々盛大になるように、常に大きな期待をかけて居りましょう。(一九五九・五・三〇)

高15 白山 源三郎

昔の三商大対抗水泳が、又引続き盛んに行なわれて居て頼母しい次第です。その元になつた神戸、大阪対抗は大正七・八年頃に始まつたのですから、今の早慶や、三大学の水泳より古く、大学対抗の水泳としては、日本最古でしょう。その時から意識してのことです。

応援になかなか行けないで残念です。頑張つて下さい。

## 想い出すことども

学1 小 山 賢之助

阪神商大戦が第四十回になるといふ御案内を頂いて今更乍ら時の経つの早いことに一驚して居ります。私が出泳したのは、第七回から第十二回迄の六年で、第十回の昭和四年には木下東作博士を始め当時の関西における最高の競技役員を備え花々しくやつた事が想い出されます。凌泳編集子が、先輩の原稿を集められるのもよいですが、四十年の對抗戦の歴史を、優勝校、得点、三位迄の獲得者等を整理して発表して頂くと一段と興味深いと存じます。

もう古いことで、記憶力も減退して居りますので、或いは誤りもあるかと思いますが、之はお許しを願つて、当時の事で想い出なることを少し許り書いて見ましよう。

もともと大谷親之輔、東光武三、鍵本芳治(何れも故人)と私の四人は、大阪の天王寺商業の出身です。天商という学校は昔大阪高商甲種科と称して居たもので、大阪高商の子供の様なものでありました。對抗戦のあとのパーティーで、神戸は商神を歌うのですが、当時大阪の歌う校歌は「夕べ古城を仰ぎ見て」

という句で始まるもので天商の校歌と同一なのです。又神戸が昇格して予科も専門部もない為めに、私の育てた天商水泳部の後輩は大阪へ行く他はないので、阪神商大戦で天商水泳部が敵味方に分れるという様なことがありました。私としては誠に複雑な気持でした。

阪神高商戦の始つた頃は水泳日本のれい明期というべき時代でありましたので、兩校選手の中には当時の一流泳手が名を連ねて居つたものです。今のアジア競技大会の前身たる極東オリムピック大会の代表選手としては神戸には白山源三郎氏が居られたのですが、大阪には小野田幸一という名選手が居り、神戸の連中は之に悩やまされました。同氏のチンバ抜きは当時一流で、大毎主催の十哩遠泳には、クロールの入谷唯一郎選手には敗れましたが、三等に入賞して、大阪高商の名を上げたのです。之は私より以前の事ですが、私共の頃には、大阪に金森文太郎という極東代表が居りまして、神戸の連中は之に勝てなかつたと記憶します。

昭和の始めマルクシズムの研究が流行しましたが、兩校水泳部の中にも共鳴者が現われ水泳をやめて、そちらに投じた人も出てきました。現在日本共産党で活躍して居る竹中恒三郎氏は第十回の当時確か大阪のマネージャーであつたと思ひます。神戸にも土肥、村井という様な人達がその方に参りましたが、土

肥駒治郎氏は、其後転向して大連に渡り、戦時中大連の土肥商

会といえ、相当な会社であつたと聞いて居ります。昭和十八年でしたか、銀座でヒョッコリ会いましたが、其後消息不明なのは残念です。彼は大阪の市岡商業の出身で平泳が強く、関西ではベストテンに入る位の実力があつたのですが、当時の神戸は関西の平泳王国といわれ、土肥君はナカナカ正選手になれず、「コマジロ」「コマジロ」と呼ばれて禪かつぎ的存在としか認められなかつたので、水泳の望みを捨て、共産陳営に走つたのではないかなどと想像をして居ります。当時の対抗戦で平泳で三等に入つても鼻も引つかけられないのですが、フリーで四着にでもなれば、英雄扱いをされたものです。

又中学の名選手を受験させるために歴代のマネージャーは苦心をしたもので、参考書を買ひ与えたり、色々世話をしたものですが殆んど入学させることが出来ませんでした。

当時の部員は精々十名で、大阪が、大阪学連で優勝するといふ様な強い年が二三年続いて、之を破るのには随分苦勞したものです。

只第七回と第十二回とは、前者には大島、中村、大谷のトリオがあり、後者には板野、岡等の名選手が居つたので圧勝したと記憶して居ります。平泳はこの六年間一着から三着迄を独占して完勝して居ります。四十年の中では珍しい記録ではないか

と思ひます。

学1 山田常雄

阪神両大学の対抗試合に、双方の選手として出場の経験を持つものは、おそらく私と、三回生の小西君位のものであろう。無論同時に双方の選手として出場したのではないが、そのいきさつはこうだ。私が長崎高商を出たのが昭和三年で、阪神両高商が大学に昇格したのが昭和四年であるから、何れかの大学に入らうとするにはどうしても一年何処かで足踏みをしなければならぬ。当時大阪高商に研究科という制度があつたので私はそこへ入つた。大方は時間待ちの連中ばかりであつた。ところが、当時高専大会というのがあつて私もいさゝか顔を知られていたものだから、早速大阪の水泳部から否応なしに引張られて泳がされた。その夏の対神戸戦へは大阪が勝つた。シーズンが終ると受験準備にとりかゝり、神戸、大阪双方を受験した。結果は神戸が先に発表して合格していた。大阪は、神戸に合格した者は除いて発表した。で神戸へ入学した。すると今度は神戸の水泳部から呼出しがかゝつて来た。お前は憎い奴だが、神戸の水泳部へ入らんかというわけだ。私は泳ぎたい事は泳ぎたいが一寸思案をした。大阪方に一応筋を通して置いた方がよいと思つたので大阪のキャプテンに相談した。キャプテンは「お前

が大阪に義理を立てゝくれる考えは有難いが、両大学の試合は、元來勝ち負けは問題にしていな。河童が泳げんようでは可愛想だ。気にしないで神戸のため頑張つてくれ」と氣持よく言つてくれた。そこで私は又神戸の選手としてその夏対大阪戦に出場したがこんどは神戸が勝つた。という私のせいで勝つたようであるがそうではない。私は元來プレストの選手であつたが、神戸には当時、小山、鍵本、熊野という三大強豪が居つたので、私はオーバフロウだ。そこで私は、一番手薄だつた八百を泳ぐ事にした。ところで練習の時にも八百も続けて泳いだ事が無かつた。全く無謀である。果して漂着出来るかどうかが問題だつた。幸い対抗戦では私は両大学の声援に励まされて目出度く五着に入つた。これにこりてその後は短距離に転向した。私の持つ公式記録は、五十が二十八秒八、百が一分七秒二である。

今春、長男が大阪市大の工学部に入學した。これで又大阪との連けが密になつたと喜んでゐる。

#### 学1 草野嘉一

旧大阪高商戦、それから旧大阪商大戦には、昭和元年から昭和六年迄六回出場したわけだが物覚えがいいので大抵忘れてしまつた。

昭和元年には確か大阪築港の市立運動場プールでやつたが、

当時はコースロープが張つてなく、今は無き中村毅さんがバツクで隣のコースに曲つてしまつて、ターンをして大阪の太田君に頭をぶつけて折角先頭を切つていたのに惜しくも失格したことがあつた。今はコースロープがあつて安心である。

### 大阪市大戦の思い出

#### 学4 桑川義男

対大阪市大戦も今度で四十回目を迎えると聞いて、そうかなあ、といった感慨に、なんだか胸をしめつけられるような氣がする。

戦争の中にはさんで、両校ともよく続けてきたものだと思う。僕自身の出たのは何回頃かもう覚えていないが、妙にプールの印象だけは比較的鮮明に残つてゐる。

大学一年のときだつたか、二年のときだつたかはつきりしないが、あれは確か、浜甲子園の電車の終点近くにあつたと思うが、だいぶ汚れた二十五Mプールを使つたことがあつた。狭いうえに、黒ずんだ水がゆれていたのを記憶している。たゞ誰と誰と出たのか、相手方はどうだつたのか覚えていない。

いま一回は僕の記憶に誤りがなければ、当時まだ新しかつた

## 思い出のアルバムから

学5 野村 弘

神戸市民プールだつたように思う。この時はいゝ天気で気持がよかつたのだが、二百平泳のゴール近くで、三位争いを演じてしまつて、プールサイドから先輩に怒鳴られるは、手足は動かないはで、あんなツライことはなかつたと今でも思つている。

その時に一緒に泳いでくれた我が戦友は、なんといずれも水泳部員ではなく、一人は剣道部、一人はラグビー部の選手諸君だつた。つまり水泳部員だけでは、対大阪商大戦がやれなかつたのである。それほど当時の水泳部は貧弱な陣容だつたわけだ。剣道部員だつた彼とは、現在朝日新聞社の財務部長をしている山本國次君であり、ラグビー部員の彼とは、現在は郷里の岩手県陸前高田市で商売をしている小松哲雄君のことである。ところが前二回と比べて、いま一回の記憶がさつぱり残つていない。宝塚プールだつた様な気もするし、大阪の築港の方にあつた市営プールのような気もする。ともかく二十数年を経ると記憶もだんだんあやしくなつてくる。殊に相手方の誰彼という事になると、大学を出てからも、ちよいちよい顔を合せていた大東君ぐらいたが、その大東君の消息も近頃は絶えて聞いたことがない。

時日の経過がすべてを遠い霞の彼方のことでもあるように、ぼんやりとしまつてゐる。

(昭三四・五・三〇)

今日は五月二十四日、昨日来の雨がしとしとと降つて居る。では好きなゴルフにも行けないので本箱を整理していると、古いアルバムが出て来た。二十数年前の懐かしい思い出のものがかりである。アルバムと共に商大時代を振り返つて見る。

一九三三年(昭八)商大入学の年は未だに上筒井の校舎で例の巾八米の小さなプールで練習に励んだものだ。このプールは、私が中学で最初に一分八秒で百米に優勝した思い出のプールで、隣りに柔道の道場があり、柔道部の連中が練習後の汗をよく流しに来たので、喧嘩したものだつた。

一九三三年の三商大戦は宝塚で行つたが、東京は名古屋高商より清川君等が入校したので、善戦はしたが勝てなかつた。神戸の陣容は三年生に宮本さん(現在川鉄重役、当時より口八丁、手八手のやり手で心臓の強い事で有名、其の後二十五年、さぞや心臓に甲羅が生えた事でしょう)、小西さん、岡さん、板野さん(何れも近況聞きたし)、二年生には条川君(毎日新聞本社の論客)池谷君(九州に行き絶えて久しく会わぬが相変らず

元気の事と思う)、一年生には大槻君(和中のバツクでならしたが、三年生の頃より所在不明となる)、古賀君(がわ相変らず元気一杯、この春久々に一杯やつた)に私と云う顔ぶれ、記念写真には藤井先生の元気な顔と共に、井関さん、山田さん、草野さん、鍵本さん、熊野さん、北条さん、香山さん、川西さんと大勢の先輩の顔が見える。この内、井関、鍵本、川西の先輩已に無く、淋しい次第である。山田さんは私の専門学校以来のボン友であつたが、今はコワイが人情の判る判事さん、夙川荘の時代が懐しい。熊野さんは広島で製罐会社の社長さん、先年久々に一夕を共に過した。麻雀屋から馬をつれて氏の下宿に行き、立替てもらつた事もあつた。北条さんは昔から当りのやわらかい、やさしい人、東京の凌霜火曜会の幹事で、時々かり出されて御目に掛つて居る。草野さんは兼松の重役、毎日尻をたゝかれています、学生時代と一寸も変らぬ紳士です。

一九三四年の大阪商大戦の写真は一枚しか無いが、神戸は新人の活躍で大勝したことを覚えて居る。神戸市民プールで、私がリレーを終つて、プールサイドに上つた処、後に草野、鍵本先輩の姿が見える共にカンカン帽をかぶつて居るのも当時の風俗をしのばせる。

一九三四年のアルバムには、対大阪商大戦の合宿練習の写真が二枚ある。上筒井のプールで、三年生は本間、池谷、二年生

には大槻、片山、千葉、古賀、私、新人として参加しているのは栄口、山村の両君で、この中でも既に二名他界している。片山、栄口両君で共に戦争のいたましい犠牲者で、若くしてこの世を去られた両君の御冥福をこの機会に祈りたい。栄口君はスキーの方は大選手であつたが、水泳の方はどうも大選手とは云えなかつたが、とてものがんばり屋で、四〇〇、八〇〇を泳いでもらつたがヘドをはきつゝ完泳、試合には貴重な点を稼いでくれた。今でも当時のガンバリが目に浮ぶ。大阪商大の試合は浜甲子園の二十五米プールで、一枚だけ写真があり、八〇〇米とあるが驚ろくなかれ、六人の選手中三人迄が平泳で泳いでいる。写真では誰だか判らぬが、対大阪戦らしいホ、エマシイスナップであるが、何れも一点でも稼がんとする努力である。この時は大接戦で、最後の八〇〇米リレーで勝つた方が優勝することになり、アンカーの私が飛込む時は敵は既に二十五米をターンして居り、どうなる事かと思つたが、後でペローが沈もうがかまわぬ、ともかく頭さえ並べたら良いとばかり、ガムシヤラに頑張り、百五〇米でやつと追いついたがもう足も腕も動かないが、先輩、同志みんながプールサイドで血まなこで応援して居るのを見て、ともかくゴール迄たどりついた時の五〇米の長さは今だに思い出す。苦しかつたが、それだけに愉快な思い出である。試合後、神戸の街を喜びにあふれ、先輩共々商神

を高らかに歌い、飲み歩いたが、当時は学生が一番楽しく暮せた幸福な時代であつた。

一九三四年の三商大関係の写真では「三商大戦に僅か五名の選手で東上」とあり、神宮青年会館で小山先輩と一緒に糸川、池谷、千葉、栄口、私の若き姿あり、小山さんは御承知の通り、前日本水連の専務理事の要職にありし人で、昔から吾々の試合にはどんな事があつても顔を出して激励、指導、二十五年一日の如く変らず、その熱意と御好情に対しては、更めて敬意を表したい。夜の部は如水会館で神戸は小人数ながら、私を中心として、他校を圧する奮闘の写真あり。白山大先輩の顔も見えて居る。

一九三四年の秋には六甲のプールに水が入つたので、部員全部で見物に行つた。北村、古林両先生の若々しい顔も見える。

一九三五年のアルバムには、新装なつた六甲のプールの写真に「私達の苦心により、コース・ロープもポロのゴールも完成とあり感激の一端を示して居る。プールを作るには諸先輩が血の涙の努力で造られたものを、吾々が引継ぎ附属設備を完成さす責任があり、予算が殆んどなかつたのを、北村、古林先生に御願ひしたり、先輩に無理を云つてやつと、このプールで試合が出来るまでにこぎつけた訳だつた。一九三五年ともなると、いやに最後と云う字が使われて居る。「最後の合宿練習」として、

栄口、山村、片山、千葉、太田、小池、伊藤、富岡、古賀、高橋及び私の勇姿がある。千葉君は卒業後は凌泳会の世話をよくしてくれたが、今は大野とたり、秋田の銀行重役でおさまつて居る。小池君は龍角散の常務で張り切り、伊藤君は日産船舶の社長で、凌泳後輩のメンドウをよく見て呉れている。この合宿は対大阪商大戦に備えたもので、六甲の合宿で大いに張り切つて居たが、試合の二日前から発熱して寝込んでしまつた。長い選手生活でシーズン中に病氣になつたのは始めてで、途中で倒れても出場すると神戸市民プールに行つたが、熱には勝てず、遂に出場出来ず、之が士氣にも影響して惨敗した事は私の選手生活中一番残念な事であつた。

九月にはインターカレッジも終り、アルバムも感慨深そうに、「長い選手生活最後の試合」とある。十月には「多年の懸案なりしプール開き完了」として、故田崎学長の式詞、神主の祝詞の写真二枚あり、北村、古林学長の厳肅な顔も見えている。

之で私の長いが染しかつた水泳選手生活も終り、六甲台を下りて三十六年の春には実社会に飛び出した訳ですが、水泳を通じて育成された頑張りズムで私は私なりに現在迄働いて来たつもりです。但し外国生活が長かつた関係で、其の後あれだけ情熱にもえて居た商大水泳部に対して、其の後何等寄与する処なく残念に思つて居ります。今後幸い内地生活が続けば、出来る

丈の御手伝をさして頂きたく考えて居ります。

## 「ふんどし」は生命の守り

学9 大西 真博

対大阪商大定期戦四十回を記念して原稿を送れとのことなので想い出を書きます。題は今思い浮んで書いた次第だが本当に小生は今日在るのは「ふんどし」のお蔭であると思つている。六甲台で泳いでいた頃の「ふんどし」とバイクはその儘戦争中ビルマの戦地を転戦し河と云う河で又波高い印度洋でたゞ一人戦争をよそに泳いだものだつた。戦況不利で将校行李を焼く時も「ふんどし」とバイクは身につけて歩いた。……そして河に出れば裸になつて泳いでは楽しい学生生活を想い出し練習の時の苦しさを想い起す。戦塵を洗い生命の喜びを味つた、人生のそして戦争のインターバル。

苦しいそして楽しい合宿練習、タイムは余りよくなかつたがロングを引いたねばりはそのまゝ主計将校として糧秣補給を苦力を引連れ第一線へ往復しては追及し歩兵の二倍歩くねばりともなりそしてそれが幸いに生命を守つてくれたと今思う。感謝に耐えない。今でも「ふんどし」とバイクは時々近くの福島県

の海岸で子供と泳ぐ時に使つている。

大阪商大との水球戦。競泳で負けて望みは水球でと皆思つた。若干自信はあつたがフォーメイションを使つて田の小生うまくカパーをはずして一人前進した所逆に二点入れられてしまつた。一時勝負あつた様に思われたが泳ぎ乍ら何か大丈夫だと落附いていた。本気になつて行く様な気持。小生ロングシュートを二回決めて直ちに同点にした。フオワードの中村市治君に俺はマートクされるからあんた頑張れと励まし乍らゴールを飛び出して行つた。時間真際に中村君はシュートして三対二で競泳の雪辱成つた。大阪市民プールでの第何回かの対大阪商大戦の想い出。中村君。ゴールだつた吉野榮君。吾々の回の水泳部員三人である。今如何にされておられるか？

学11 熊野 泰己

対大阪戦四十回の由、おめでとうございます。想出と云いますと恐らく対大阪商大戦の時、小生ベスト専門でしたがバツク陣に一人故障があり、バツク百米に出場、七・八十米で浮いてラストになり冷汗をかいた事を覚えております。

対大阪商大定期戦の重大事件の一つは昭和二十四年のそれが雨のため流れた事です。関東大震災の時と二回だそうです。宝塚プールで行われるべき試合も、両軍共に空腹と豪雨のために選手が集らなかつたわけです。はずかしい事ですが、これも今となれば一つの話題でしょう。

思い出

新3 佐藤一夫

今年を以つて旧両商大定期戦は四十回を迎えるという。輝かしき伝統。一口に云つてしまえば事は簡単であるが、その裏には第一回の開催されたであろう大正中期の頃から現在までその歴史的脊骨を辿つただけでもそこには幾多の困難が潜み、これに打ち勝ち、この大会を育て、守り立てゝきた幾十代に亘る両校関係者の努力のあつた事は見逃がせない。

小生の入学した昭和二十六年の宝塚プールでの定期戦は前年迄は確か競泳、水球共大阪側にカッパを奪われて居り、その雪辱戦であつた。当時大阪側は後田、石原、寺田の各氏を始めと

して、駒村、永田、平田、反田の諸君を加えて強力なスタッフを誇つていた。これに対するに、神戸はキャプテンに浜川氏、以下西岡、石井、山本、中井、今枝、中島、小原、岡沢の各氏に新鋭の田淵、榊原、溝口、増井、橋本、堂本、佐藤の諸君の豪華メンバーであつたように記憶して居る。

当日小生はレースには出場しない予定であり、呑気に構えていたのであるが、急に浜川主将からシーズン初めのことで練習不足のエイス小原氏に代つて二百米に出よというお達しを受け、禱を締めるのもそこにスタート台に立ち、号砲も上の空で飛び込み、無我夢中で泳ぎ切り、三着でゴールインし、先ずはお役目を果たしたのを憶えている。タイムもロングプールでは可成りの記録(?)であつたように思つてゐる。次いで二百米リレーのメンバーの大役を仰せつかり後日の合宿練習で短距離泳者(?)としての練習に専念させられる端緒となり、長距離専門の溝口、橋本両君に羨ましがらせた事は高校時代スプリントがなくて中長距離泳者とならざるを得なかつた事と思ひ合せると皮肉なものであつた。

かくてこの年の定期戦は殆んどの試合で十四点を確実に稼ぐ浜川、田淵、榊原各選手の活躍等によつて競泳では前年迄の雪辱を遂げたのであつたが、ポロに於ては見るも衰れな敗れ方をした。ゴールに飛び込むボールは常に一方交通を遵守し、ラグビーのスコアを以つてピストルが鳴つたのである。爾来ポロに

関しては卒業する迄、村田、富岡、松田、山口諸君の活躍に拘らず常に大接戦の末、惜敗(?)する憂き目を見て来た。嗚呼。

## メキシコ風景

新3 今井 彰

メキシコ・シテイは緯度から云いますと、台湾あたりになりますので、現在が最も暑い季節なのですが、幸いにも、約二四〇〇米という高度に位置しており、しかも湿度が少いので、非常に爽やかで、丁度日本の五月のような気候です。寒くなると云つても、合オーバーがあつた方が良い、という程度だそうですから、気候では非常に恵まれています。

もつとも、同じメキシコでも、海の近くや、アメリカとの国境近くへ行きますと、亜熱帯もしくは熱帯的な気候の処があり、最高は一二〇°Fにもなるといふますから、恵まれているのはこの都市だけだと思います。

私は、綿花を買いに、これから暑い処ばかりをさまようわけなんです、色白でもつて響いていた美男も、日本へ帰るころには、すっかり陽焼けして、顔を憶えていてくれる人もないかわかりません。

メキシコは、御承知のように、以前スペインの植民地だつた事があり、そのため、こゝの人種もラテン系の人が多く、白色、混血、原住民、とほゞ三分されていますが、頭髮や眼の黒い美人が街にあふれております。丁度エリザベス・テイラーとよく似た感じの顔で、面長で、鼻が高く、ホリの深いという日本とはちよつと変つた感じですが。しかもその体格が又美事で、背が高いために、あまり目立ちませんが、正確に測れば、バストやヒップは日本人の二倍あるのではないでしようか。先日、B・バルドーの映画を見に行つたのですが、彼女の体が貧弱に見えてしかたがなかつた位ですから、日本へ帰つたら、まるで皆が子供のように見えるんではないかと心配です。この様な調子ですから、我々日本人なんかどうも見おとりして、美人は多くおりながら、たゞ溜息をついて眺めているというのが実情です。それにスペイン語もやつて来たものゝ、とても実用にはほど遠く、やつと日常の生活を、片語ですましていく程度では、愛をササヤクのも不可能と、その方面より発奮して大いに頑張つておりますから、いずれよい便りが出来るかも知れません。

こちらの人は、日本人の様にコセコセしてなく、他人の事を気になんかないのが、又愛を享樂するのか、公園なんかには、アベックが抱き合つていたり、夜、自動車で走つてみると、自動車の中や、道路上でキツスしているシーンは幾度となく見か

けます。それに、それを見て、特に気にする人もなく、愛の  
為には、どんな時間でも良いものだ。とか云つて通りすぎて  
ゆきます。朝、出勤時、路上でキツスしている人達があつても  
知らん顔して通りすぎてゆきます。日本人の感覚では、とても  
できないことです。

こんなのばかり見せつけられていると、カツトきて、仕事に  
でも打込んでいないと、とてもたまりません。さぞかし能率の  
上ることでしょう。これから、田舎の方へ行きますと、日本で  
は見られも、考えられもしない事が多いことでしょう。

(頂きました便りより)

## 水球のこと

新5 松田 司朗

私が卒業したのは二年前ですから学生時代の「思い出」とか、  
ましてや対市大戦の「思い出」とか云い出すのは笑可しいので  
すが、ちよつと印象に残つた事を書き留めて見ました。

私の在学中は競泳に於ては、我が校が優り水球は全く問題に  
ならぬ程市大が強かつた四年間でした。相手は高等学校時代鳴  
らしたと云う駒村さん、永田さん等おられて、二十対零とか一

とか、いつも二桁のスコアを入れられて惨敗していた様です。  
それも私が三年四年生になる頃には、そんなに迄点数が開く事  
はなかつた様です。

私が入学してすぐ水球のルールすら殆んど知らなかつたのに  
シーズンの初めにあるこの対市大戦の水球試合にフォワードの  
センターとして起用されたのですから、我が軍の水球レベルた  
るや推して知るべしです。案の定二十対零ぐらいで惨敗しまし  
た。その時は扇町の飛込み用二十五米プールで行われたのです  
が、水は水深六米の底迄きれいに澄んでいました。球は手に付  
かず、我がチームが球をキープする事は殆んどなく専ら敵のな  
すがまゝに任せてあると云つた状態です。私は相手の攻撃  
を邪魔するか沈めるかに専念し、永田さんの大きい体を二段蹴  
りで深く深く沈め、我ながらひどい事をしたと思ひました。そ  
の後大体私はフォワードをやらされ、たえずマークされる立場  
にあつたのですが、疲れている時深く二段蹴りで沈められると、  
聯かフアイト喪失する様で、水面に浮かび上るのが面倒臭いと  
云つた心境になつたものです。

近年水球のルールも改変され試合始め一回きりフォワードは  
球を取りにダツシユすればいいのですから大変楽になつたもの  
と思ひます。

この前のメルボルンオリンピックの水球戦でハンガリーとソ

連との試合の時反則からエキサイトし、プールサイドでなくぐり合いを演ずる一幕もあつた様に記覚していますが、水球程反則を公然とやるスポーツも珍しいと思います。プロレスリングに匹敵するんじゃないかと思ひます。プールのワンサイドから見ているレフリーには水面下でなされる諸々の高等テクニク迄見る事も出来ず、反則見たいなのが公然の技術として罷り通る事になるのかも知れません。サブレフリーを反対側にもう一人おいてやる様にしたらとの意見もあります。アマチュアスポーツのフェアプレイの精神できれいな試合を学生スポーツでは見せて頂きたいと思つています。

## あ の 時

新6 岡 見 晴 児

怒つたように雨が降つている。

この時期にこんな雨を見ると、不思議に泳いだ日の事が思い出される。

雨の日は辛かつた所為だろうか。

水に入る前の体操のイヤだつた事。胸に水を当てた時の、あのゾクリとする寒さ、開いた眼や口に容赦なく襲いかゝる雨、そ

れにこの様な日に決つて感ずる泳いだ後の満足感……今頃は六甲の河童もドラム罐に投げ込んだ焚火で燠をとつている事だらう。

ク 凌泳 編集により市大戦にまつわる思い出をとの注文であつたが、ついこんな事を書いてしまつた。

市大戦と云えば常勝の競泳よりも、苦戦の連続であつたボロの方に思い出が深い。

最後のシーズンだつたと思ふ。

その年の市大は優秀なボロ選手が少なかつた所為か特に荒つぽかつたように思ふ。

プールサイドの手摺の前には美しいお嬢さんが二人立つていた。やつとの思いで前半を終つた。

前半終了直前、鮮やかなシュートを決めていただけに、さつきのシューターは俺だぞとばかり勢いよく手摺につかまつて水から上がり、そのお嬢さんの前に立つた途端、何たる事ぞ、パ  
ンツの前部が大きく裂けてゐるではないか、

今ならニヤツと笑えたかも知れないが、そこはまだ純情青年であつた頃の事、ろくろく顔も見ず慌て、逃げた事を憶えている。その年は何年振りかで総合優勝を成し遂げた年でもあつた。

雑 感

新々 岡村 司

就職以来二月余り、水泳のシーズンも愈々、東の早慶対抗、西の京阪神三大学対抗(?)を皮切りにその幕を切つて落した。

昨夏迄、現役諸君と共にプールではしやぎまわつていたのが、つい昨日のように感じられる。小生も中学、高校、大学を通じて九年間の学生水泳生活に一応のピリオドを打つことになり、思えば感慨無量というところである。

水とともに幾年月、水に青春の哀歎を托した我が青春前期。水こそ唯一の生甲斐であつたのかも知れない。今年になつて二、三回六甲台のプールを訪れたが、現役諸君は、昨年、一昨年……と変わらず元気な水しぶきをあげている。

現役諸君、今年一杯存分に泳ぎ抜いて呉れ給え。猶、紙上を借りて先輩の方々に、小生の在学中の数々の御援助、御配慮に対し、心から感謝の意を表します。

陸 上 つ て

新々 北村 敏

四年間の大学生活も省りみれば夢の様に短いものであつた、在学中四年間の想出というと殆んどが水に関するものである。つい先日もアルバムを整理しようとして驚いたのは、写真の半分は裸で写したものであることである。この中にはレデイの前にはお見せ致しかねる様なものも出て思わず苦笑した。

今年は大阪市立大学との定期戦が始まつて四十年になるそうで、何か、この定期戦に関する想出とかエピソードを書けとのことであるが、小生の如き、つい先日までプールで泡を立てて居た若僧には、試合の記憶が生々しすぎて書くような事は全く見当らない。

あえて探せば、小生は在学中ボロをやると足が妙につるので、ボロが大嫌いで、ルールも余り研究せずよく知らなかつたものだから市大の連中に試合中ジャブジャブ水をかけたり、足を引張つたりして相手をエラク恐らせ、今度の試合には沈めてやるぞといわれたときには、小生は既にメンバー・チェンジされて水の上に居たことくらいである。

泳ぐのは人一倍好きで、昼まで下宿で寝ていても昼から泳ぎ

に丘の上へ上つた自分であるが、このポロだけはどうもなじめなかつた。しかしポロは別として四年間実によく泳いだものだと思う。下手の横好きというのであろう。何時の頃からか、大学生活は泳ぎが第一で、卒論が第二で後は何も無いことに決めてしまつて居たようである。新入部員が講義があるから練習に行けないなんて言うと、口ぐせの様にサボれサボれと繰返したが、その為に止めて行つた人もあり、今から思えば、少しばかり気の毒な気もしないでもないが、自分自身では講義をサボつて泳いだことに全然後悔も何もし居ない。

生れつき、チョンと座つて生真面目な顔をしているのは苦手の方であるのが、四月から十月まで裸で過せたのだから、プール程気持のよいところは一寸他に考えられない。その男が毎日朝早くから起き出して、毎日会社へ行きソロパンと計算器を片手に労務状況や賃金状況の統計表作りをやつてるところを現役の諸君がみれば、少し位は同情して呉れるかも知れない。今頃の様に暑い日が続くとプールの水が恋しくなるのも無理はないが確信をもつて言えることは、サラリーマンというのも巷間に伝えられるようにわびしいものでも、つらいものでもない。学生時代確かに楽しく愉快であつたが、それに劣らず会社も楽しく愉快である。今のところ会社の補欠みたいなのであるが、もう一度学生時代にもどりたいたいなどという気は毛頭ない。この

補欠生活は、今までのそれのように、肉体的な苦痛は伴わな  
いというものの、ソロパンの合わないのと、統計表の縦横の合  
わないのには随分苦勞させられている。

早く誰にも負けない選手になりたいものである。

## SCRAP

### ○練習日記より

大正九年九月九日

愈々待つていた返事が、対大阪高商競技に関する返事が菊池から来た。八百、千五百は種目に加えてない。審判員、開始時間、競技場所、其他細目に渉る協定をするため、重任を帯びて小生（爺氏）が大坂へ出張する事となつた。昏迷、菊池に會つて協定をする。審判員の選定は先方に任せ、其他の事も略々きめて歸つた。（中略）

若く生れ出でたるものには力がある、生新の氣、伝統もない代りに何等の因襲に束縛されない強さ//然し生れ出でしむ可く培ふものには又それだけの覚悟と努力を要する。私等の今の仕事は皆世の基礎となるものだ。小さいながらも学校生活を飾る唯一の思出として水泳部に孤々の声を挙げしむ可く努力したい。

大正九年九月十二日

本邦水泳界の歴史を飾るべき日本最初の対抗水泳競技愈々今日が戦の日だ。小さいながらも我々が築きあげて行く努力の足跡を見よ。吾部が今日斯く対抗競技を迄なし得るに至つたのは皆畏友、白山、小笠原其他諸兄の小さな努力の蓄積ではないか。

(中略)

朝、大阪方選手及審判員諸氏を出迎に行く。村尾君、多田、吉村の二先生一汽車先に来られる。村尾君、吉村先生は合宿へ、多田先生は吾等と共に敵手を待つ。(中略)

木下先生の紹介で藤井医学士を審判長に中尾、浜中、杉本、中田の四氏に審判員の労を煩わす。

午前十一時より競技を開始す。(中略) 競技終了後、模範遊泳があつて後合宿で関係者一同茶話を催した。楽しく食ひ、喋りいい気持になつて散会した。(中略)

皆んなで校歌を歌つて停車場に向う。勝利は俺等の頭上に輝いたのだ。月桂冠は俺等が得たのだ。何という光輝ある吾部の門出だろう。凡ゆる光栄と光輝を乗せて列車は南へ走る。

x x x x x

○ 二十回記念プログラム寄稿文より

大正九年に我国最初の対抗競泳である大阪神戸両高商の対抗競技会が茨木中学校のプールで催された。其後両校の大学昇格

と共に両商大水上大会と云う事になつたが始より二十回を数へ、時恰も東亞聖戦第二週年を迎え、挙国緊張の時に其健全なる發達を慶祝する事が出来たのは、始より本会に関係させていた僕にとつては大に光栄に存する次第である。今や二十年後の今日両校共に校内に立派なプールを有し年々張り切つた競技を續けてゆく事は誠に隔世の感がある。茲に其当時の水泳界を回想すれば其前年大正八年にはマニラの極東大会で内田正練氏が出場して陸上選手の竹内広三郎氏と共に活動した位であつたが、此大正九年こそは我国競泳界のエポックをなした時で、我対抗競技の行われたプールの主である茨木中学が中学校競泳全盛のトップを切つて東大の戸田水泳場の大会に進出し大学専門学校連中をナデ切りにして驚かした事と、第七回万国オリンピック大会に、日本から始めて世界の檜舞台に出場した事とであつた。日本の成績は香ばしくなかつたが持つて帰つた御土産は長距離にもクロールの威力ありと云う本格的競泳練習方針で此外征中に行われた我対抗競泳に用いられたトラヂオンは此年以後歴史的のものになり、コースラインの無いプールで対角線に泳いだり煽足と相の子のブレスト等は珍なる語り草となつた。

(中略) 今や斯く呱呱の声をあげた歴史的本大会も代々の両校選手先輩諸君の努力と親善の結果は之が商大聯盟を生み、高商聯盟大会を開催し其記録は時代の最高峯を辿らなかつたと雖も

両校の結合が我水泳界に残しゆく其足跡に就ては大に敬意を払わざるを得ないのである。

(藤井 正太郎氏)

X X X X

茨木中学のプールで第一回の大会をやつた際故河津彦四郎氏や古銭栄三郎君等の発起でその場に居合せた藤井、杉本両先生や私共も加つて十円宛出してトロフィーをその場でこしらえたというのんびりした時代であつた。白山源三郎君も当時の選手で海や川からプールの水泳に移る時代には相当活躍した大選手であつた。この時分に赤い禪が流行つたがこれなども海の水泳から来たものである。(後略)

(中尾 保氏)

X X X X

其の頃水泳で関西地方に覇を唱え振つて居たのは神戸高商でありました。当時同校学生で私と同時に芝浦で百米に二等入選の白山氏を通じて、(茨木中学のコーチであつた私が)競技を申込みましたが、何しろ中学と高商であるから練習競技ということにして茨木のプールでやりましたところ見事茨木中学が五十米以外は全勝する所となりこれが動機となつて白山氏は対外競技の必要を痛感され大正七年大阪高商に競技を申込みれる事となり、その時から藤井正太郎先生を審判長として今に至るまで引続き継続して行われて居るのであります。(中略)

昭和十年に甲子園のプールで行われた時、ポロカップを寄贈して藤井杯と共に毎年その争奪戦が行われて居り、藤井先生が顧問として御指導されて居られるようなわけです。

(中田 留吉氏)

X X X X

神戸高商水泳部が始めて茨中のプールへ泳ぎに行きたるは大正八年の夏と記憶す。吾輩白山以下大挙して出向き、高石勝男をして「高商のオッサンには勝てん」と嘆ぜしめたるに翌九年夏には高石に神戸大阪共に歯の立つ者無し。

対商大戦の第一回は八年八月下旬から茨中西方の寺に合宿し、茨中寄宿舎の麦飯を食つたと記憶す。今にして思えばまるで夢の如し。

神戸高商対大阪高商の庭球試合は当時運動界の花であつた。併し余りに張切るので遂に喧嘩別れになつた。此国交断絶を惜しみ且つは親善国交が未来スポーツの使命であり吾々こそは之を為し得ると信し進んで当時としては珍らしい水泳の学校対抗試合を申込んだのである。計らずも之が水泳に於ては学校対抗の最古のものとなつた。

(白山 源三郎氏 高商十五回)

X X X X

私等の入学当時は唯水泳の好きな者等が集り敏馬の浜で短艇部のボート及伝馬船を引出し無暗矢鱈に統制なく泳ぎ廻つたのみ。又寒中水泳として岡田英定先生を総大将として有志二十名位にて寒中に約二十日間位授業の昼休みの時間を利用して。敏馬の浜で水泳をやり、二十日目の終りの日に約二十分間続けて水の中に居つた山野元造君が浜に上り凍えて言葉が云えずポロポロ涙を流したりしたこともあつた。白山、山野、私等が本三になつた夏、愈々水泳部を部として創設し様と云う心組で有志募り現在は埋め立てて無いが、青谷の池を区長さんに水門の樋に触らぬと云う条件で貸して貰い、粗末な飛込台を作り汚い池の水を盛に呑んで、当時未だ余り普及していないクロール泳法の真似事をして五十米を三十二秒か三秒で泳いで、速い速いと云うた程にて、練習試合として夏休み前に茨木中学のプールにて同中学の選手と試合をし中学選手に散々の敗れをした。(中略)

夏休みになるや早速日本海岸城崎の北の竹野の浜に約十五名位にて水泳に行き、同所にて大阪高商と試合をやるうではないかと云い出した様にも憶えて居る。中村種君、小笠原房穂君、私は家が大阪にあつたので大阪高商との交渉をする事になり、中村が大阪高商の学生菊池君を知つて居るので中村と私とで菊池君の家に行き試合の申込をし、又採点方法を協議したもので其当時未だ水泳の對抗戦は殆んど無く、採点法も水泳の試合とし

ては依るべきもの無く陸上競技のそれを真似した訳です。大阪高商の試合が定まると同時に私の家を本部の様にして、帰省中の水泳の好きな連中にハガキを出し茨木の某寺の本堂を杉本伝氏のお世話にて合宿所と定め、同所に集合懇請した。集まる者十名位だつたと思う。同所にて大阪高商と試合をして之に勝ち、部の存在を学友会に認識さし学友会の部としては、独立を致さんと思ふに致り、先づ勝たざるべからずとの気概に燃えたもので幸に對抗第一戦は凱歌我に上り、大阪毎日新聞第三面に對抗戦の様を記載せしめ学校当局に示威運動をした訳です。これが功を奏したのが、試合直後の秋になり部としての存在を認められ独立する様になつたと記憶して居ります。

(天野 俊一氏 高商十五回)

( 対大阪市大戦 )

5	6	7	8	9
13.7.6	14.6.27	15.7.11	昭和 2.7.3	3.7.8
大阪市立プール	神戸高商プール	大阪市立プール	大阪市立プール	大阪市立プール
(大) 西田 31' 4 (神) 中村 (大) 田中	(神) 坂本 32' 2 (神) 浅野 (神) 中西	(神) 坂本 30' 5 (神) 中村 (大) 田中	(神) 坂本 30' 8 (大) 今橋 (大) 南方	(大) 根岸 29' 8 (神) 熊野 (大) 黒山
(大) 西田 1' 13' 0 (神) 大島 (大) 小野田	(神) 作田 1' 13' 8 (大) 堀川 (神) 豊田	(神) 大島 1' 11' 4 (大) 西田 (神) 坂本	(神) 坂本 1' 12' 4 (大) 今橋 (大) 三村	(大) 根岸 1' 09' 8 (神) 熊野 (大) 黒山
(大) 小野田 2' 58' 6 (大) 岡本 (神) 大島	(神) 上杉 3' 12' 0 (神) 木村 (大) 山口	(神) 大島 2' 50' 2 (大) 太田 (大) 黒山	(大) 三村 3' 02' 4 (神) 坂本 (大) 南方	(神) 香山 2' 49' 0 (大) 三村 (神) 岩沢
(大) 岡本 6' 33' 6 (大) 小野田 (神) 松村	(神) 木村 1' 21' 0 (神) 松村 (大) 山口	(神) 大島 6' 31' 6 (神) 松村 (大) 太田	(大) 三村 6' 53' 2 (神) 藤村 (神) 植木	(神) 香山 6' 07' 0 (大) 三村 (大) 足立
(神) 鈴木 16' 43' 0 (神) 三輪 (神) 木村				
(神) 灘波 1' 33' 4 (神) 中村 (神) 大島	(神) 中村 1' 36' 2 (神) 東光 (大) 喜吉	(神) 黒山 1' 34' 6 (神) 東光 (神) 草野	(大) 南方 1' 32' 6 (神) 東光 (神) 草野	(大) 黒山 30' 8 (大) 太田 (神) 太田
(神) 井関 3' 34' 0 (神) 三輪 (大) 橋本	(神) 井関 3' 22' 0 (大) 喜吉 (神) 三輪	(神) 井関 3' 27' 2 (神) 小山 (神) 石森	(神) 鍵本 3' 26' 2 (神) 小山 (神) 市山	(神) 鍵本 3' 19' 6 (神) 熊野 (神) 土肥
大阪 2' 14" 0 神戸	神戸 2' 09" 4 大阪	神戸 2' 05" 3 大阪	大阪 2' 08" 0 神戸	大阪 2' 02" 0 神戸
				大阪 11' 57" 0 神戸
神戸 5' 18" 0 大阪	神戸 5' 26" 4 大阪	神戸 5' 06" 0 大阪	大阪 5' 06" 2 神戸	
神戸 26-22	神戸 35-7	神戸 32-10	大阪 22-20	大阪 73.5-62.5

過 去 の 戦 績

回 数	1	2	3	4
試 合 日	大正 9.9.12	10.9.11	11.9.10	12.
プ ー ル	茨木中学プール	茨木中学プール	茨木中学プール	
50 m 自由型	(神)野田 31" 2 (大) 菊地 (神) 白山	(神)野田 31" 0 (大) 菊地 (神) 溝口	(神)溝口 31" 4 (大) 名取 (大) 本間	関東大震災のため中止
100 m 自由型	(神)野田 1'16"4 (神) 白山 (大) 香迷	(神)野田 1'14"0 (神) 溝口 (大) 名取	(神)溝口 1'14"0 (大) 小野田 (大) 名取	
200 m 自由型	(神)白山 3'02"8 (大) 中村 (大) 香迷	(神)野田 3'01"0 (大) 中村 (大) 名取	(神)溝口 3'02"8 (大) 小野田 (神) 三井	
400 m 自由型	(神)白山 7'42"2 (大) 中村 (大) 香送	(大)中村 7'20"6 (大) 名取 (神) 高森	(大)小野田 7'11"8 (大) 名取 (大) 奥村	
800 m 自由型		ブランジー	(神)鈴木 14'05"0 (大) 菊地 (大) 小野田	
100 m 背 泳	(神)野田 1'35"6 (大) 名取 (神) 中村	(神)山下 1'36"0 (神) 野田 (大) 八木	(神)溝口 1'36"4 (神) 山下 (大) 小野田	
200 m 平 泳	(神)中村 3'38"6 (神) 国本 (神) 山下	(大) 泉 3'46"8 (神) 山下 (大) 植木	(大)小野田 3'36"2 (神) 高田 (大) 泉	
200 m 蝶 泳				
200 m 継 泳	大阪 神戸	大阪 2'18"4 神戸	神戸 2'17"4 大阪	
800 m 継 泳				
400 m 継 泳	神戸 5'13"6 大阪	大阪 5'43"0 神戸	大阪 5'44"0 神戸	
競 泳	神 戸	大 阪	大 阪	
優 勝 校	29.5-12.5	22-20	2.5-23	
水 球				
優 勝 校				

14	15	16	17	18
8.6.25	9.6.24	昭和 10.6.23	11.7.5	12.6.27
神戸市民プール	浜甲子園プール	神戸市民プール	大阪市立プール	浜甲子園プール
(神)野村28"4 (神)大槻 (神)小西	(神)本間30"5 (神)大槻 (大)尾方	(大)福島32"0 (大)尾方 (大)大槻	(大)楓 30"2 (神)満野 (大)高橋	(神)満野30"4 (大)楓 (大)藤田
(神)野村1'06"0 (大)泉原 (神)古賀	(神)野村1'11"4 (大)福島 (大)近藤	(大)水郡1'09"8 (大)福島 (大)近藤	(大)水郡1'08"8 (神)満野 (大)福島	(神)中村1'04"6 (大)水郡 (大)抱
(神)板野6'14"0 (大)小寺 (神)宮本	(神)野村5'49"6 (大)福島 (大)小寺	(大)水郡6'19"0 (大)松田 (神)栄口	(大)水郡6'01"8 (神)富岡 (神)村上	(神)中村5'36"6 (大)水郡 (神)富岡
(神)岡 (神)板野 (大)泉原	(大)小寺13'41"2 (大)前田 (大)松田	(大)松田13'56"2 (大)前田 (神)富岡	(神)富岡13'49"8 (大)前田 (神)栄口	(神)大内12'46"0 (大)片山 (神)富岡
(神)大槻1'21"2 (大)大東 (大)瀬尾	(神)大槻1'23"0 (神)本間 (大)大東	(大)大東1'26"4 (大)生瀬 (神)大槻	(神)大内1'22"6 (大)生瀬 (神)山村	(神)大内1'20"8 (大)片山 (大)上田
(大)前田3'21"2 (大)小川 (大)瀬尾	(大)前田3'13"6 (大)吉川 (大)瀬尾	(大)前田3'18"0 (大)吉川 (大)熊谷	(大)前田3'18" (神)尾原 (大)高橋	(大)高橋3'14"6 (大)前田 (神)尾原
神戸2'00"4 大阪	神戸2'03"1 大阪	大阪2'05"8 神戸	大阪2'02"8 神戸2'06"4	大阪2'01"3 神戸2'02"3
神戸 大阪	神戸11'30"4 大阪	大阪12'04"8 神戸	大阪11'50"2 神戸11'57"8	大阪11'11"4 神戸11'17"4
神戸	神戸	大阪	大阪	大阪
		神戸 2-1	神戸 5-2	神戸 3-2

回数	10	11	12	13
試合日	4.7.7	5.6.22	6.6.28	7.6.26
プール	浜甲子園プール	大阪市立プール	浜甲子園プール	大阪市立プール
50m自由型		(神)三吉 30" 6 (神)草野 (大)田中	(神)山田 29" 6 (大)金森 (神)草野	(神)小西 29" 4 (大)村井 (神)本間
100m自由型	(大)金森 1'09"6 (大)三村 (大)根岸	(大)金森 (神)山田 (神)三吉	(神)山田 1'08"0 (大)金森 (神)熊野	(神)小西 1'10"2 (神)熊野 (大)村井
200m自由型	(大)金森 2'39"8 (大)三村 (神)山田			
400m自由型		(大)平野 5'51"0 (神)香山 (大)小寺	(神)板野 6'03"6 (神)岡 (大)泉原	(神)岡 6'13"8 (大)小寺 (大)泉原
800m自由型	(神)香山 12'33"0 (大)小寺 (神)山田	(大)金森 12'08"0 (神)香山 (大)小寺	(神)板野 12'51"4 (大)泉原 (神)岡	(神)岡 12'55"4 (大)泉原 (大)小寺
100m背泳	(神)草野 1'29"8 (神)太田 (大)黒山	(大)大東 1'26"0 (神)太田 (神)草野	(大)大東 1'25"4 (神)草野 (神)太田	(大)大東 1'27"6 (神)本間 (大)瀬尾
200m平泳	(神)小山 3'03"0 (神)鍵本 (神)熊野	(神)小山 3'11"0 (神)鍵本 (神)熊野	(神)小山 3'07"0 (神)熊野 (神)鍵本	(神)鍵本 3'19"8 (神)熊野 (大)前田
200m蝶泳				
200m継泳	神戸 2'08"4 大阪	大阪 2'02"0 神戸	神戸 1'59"2 大阪	神戸 2'01"8 大阪
800m継泳	大阪 11'10"0 神戸	大阪 神戸	神戸 11'14"6 大阪	大阪 11'59"4 神戸
400m継泳				
競泳優勝校	神戸 61-54	神戸 71-65	神戸	神戸
水球優勝校				

7 坊

豪雨の為中止

30	31	32	33	34
24.	25.6.18	26.7.1	27.7.13	28.6.28
	宝塚プール	宝塚プール	六甲台プール	扇町プール
	(神)岡沢 1'14"0 (神)奥田 (大)松村	(神)浜川 1'02"2 (大)永田 (神)佐藤	(神)小原 1'08"8 (大)永田 (神)今枝	(大)繁沢 1'06"6 (大)永田 (神)小原
	(大)寺田 6'45"0 (神)今枝 (大)松村	(神)小原 6'13"2 (神)田淵 (神)寺田	(神)村田 5'59"2 (神)壽口 (大)小林	(神)松田 5'43"8 (神)富岡 (大)友田
	(神)浜川 13'04"5 (神)小原 (大)寺田	(大)永田 13'19"6 (大)寺田 (神)壽口	(神)富岡 12'22"0 (神)村田 (大)小林	(神)松田 12'18"2 (神)富岡 (神)小原
	(神)浜川 1'35"2 (神)菅 (神)天野	(神)田淵 1'28"8 (神)榑原 (大)平田	(神)田淵 1'13"0 (神)榑原 (大)小西	(大)平田 1'24"0 (大)小西 (神)榑原
	(大)後田 3'36"8 (神)山本 (神)石井	(大)駒村 3'07"6 (大)石原 (大)榑原	(大)石原 2'56"8 (神)榑原 (大)駒村	(神)榑原 3'04"6 (大)駒村 (神)増井
	神戸 2'03"8 大阪 2'16"0	神戸 2'00"6 大阪 2'07"4	神戸 1'58"4 大阪 2'02"4	大阪 1'57"6 神戸 2'01"2
	神戸 11'37"0 大阪 11'33"8	神戸 11'34"2 大阪 11'55"0	神戸 10'42"8 大阪 11'42"0	神戸 10'45"6 大阪 11'30"8
	神戸 84-53	神戸 80-60	神戸 83-57	神戸 77-63
	大阪 5-1	大阪 18-0	大阪 18-1	大阪 19-2

28日 227  
29日 234

回数	19	20	21	22
試合日	13.6.26	14.7.2	15.6.10	16.6.22
プール	甲子園大プール	宝塚プール	甲子園大プール	川崎東山プール
50m自由型	(神)部坂 29" 4 (大)楓 (神)森	(神)部坂 29" 8 (神)森 (大)齊藤	(神)森 30" 8 (神)岡本 (大)抱	(大)田中 29" 4 (神)柏木 (大)抱
100m自由型	(神)中村 1'07"4 (大)楓 (大)抱	(神)中村 1'06"4 (大)田中 (神)森	(大)片山 1'10"2 (神)森 (大)抱	(大)片山 1'11"2 (神)柏木 (大)抱
200m自由型				
400m自由型	(神)中村 5'46"6 (神)鈴木 (神)山口	(神)山口 宗 5'10"0 (神)鈴木 (神)恩地	(神)山口 宗 5'08"4 (神)山口(八) (大)星賀	(大)田中 6'06"7 (神)古川 (神)山口(八)
800m自由型	(大)片山 12'37"0 (神)鈴木 (神)大内	(神)中村 11'57"2 (神)山口(宗) (大)片山	(神)山口 宗 12'53"8 (神)山口(宗) (神)鈴木	(神)古川 13'30"6 (神)山口(八) (大)森下
100m背泳	(神)部坂 1'17"2 (大)片山 (大)上田	(神)部坂 1'18"8 (大)片山 (大)田中	(神)部坂 1'20"6 (大)片山 (神)岡本	(大)片山 1'22"0 (神)岡本 (神)前田
200m平泳	(神)山口 3'17"6 (神)吉野 (大)高橋	(神)井上 3'05"6 (神)熊野(泰) (神)吉野	(神)守田 3'17"6 (神)木村 (大)土井	(神)守田 3'14"6 (神)木村 (大)土井
200m蝶泳				
200m継泳	神戸 2'02"0 大阪	神戸 1'59"2 大阪 2'00"2	神戸 2'01"4 大阪 2'07"2	大阪 2'02"0 神戸 2'04"8
800m継泳	神戸 10'51"6 大阪	神戸 10'49"0 大阪 11'35"2	神戸 11'20"0 大阪 11'54"0	大阪 11'29"8 神戸 12'22"2
400m継泳				
競泳優勝校	神戸 91-65	神戸 100-56	神戸 100-56	神戸 80-75
水球優勝校	神戸 9-0	神戸 8-0	神戸 5-0	神戸 7-4

回数	35	36	37	38	39
試合日	29.6.20	30.6.26	31.6.24	32.6.23	33.6.22
プール	六甲台プール	宝塚プール	六甲台プール	六甲台プール	六甲台プール
50m自由型					
100m自由型	(神)富岡1'07"0 (大)永田 (神)村田	(神)富岡1'10"2 (大)田中 (神)松田	(神)松田1'08"6 (大) (大)	(神)細田1'08"5 (大)汐見 (神)山本	(大)汐見1'09"4 (神)高岡 (神)永野
200m自由型					
400m自由型	(神)松田5'41"4 (大)曾和 (神)阿部	(神)細田5'44"4 (大)曾和 (神)富岡	(神)細田5'33"0 (大)松田 (神)	(神)細田6'03"2 (大)真常 (大)木浦	(神)野田5'47"7 (神)酒井 (神)永野
800m自由型	(神)松田12'06"0 (大) (大)	(神)細田12'14"6 (神)松田 (大)曾和	(神)細田11'54"4 (神)岡見 (大)柴川	(大)木浦12'51"0 (大)真常 (神)野田	(神)酒井12'16"0 (神)野田 (神)高岡
100m背泳	(神)田淵1'15"4 (神)岡見 (大)平田	(神)岡村1'19"4 (神)岡見 (大)小西	(神)岡村1'18"8 (神) (神)山口	(神)岡村1'16"2 (神)岡見 (大)東野	(神)岡村1'16"0 (大)東野 (神)井上
200m平泳	(神)榊原3'08"8 (大)駒村	(大)西村3'12"0 (大)山崎 (神)榊原	(神)浅川3'07"5 (大) (神)山口	(神)北村3'14"2 (大)西村 (神)村岡	(神)北村3'05"0 (神)村岡 (大)山崎
200m蝶泳			(神)浅川3'17"0 (神)石本 (神)山口	(神)石本3'20"5 (大)西村 (神)大西	(大)西村3'16"8 (神)柳本 (神)萩原
200m継泳	神戸 1'59"6 大阪	大阪 1'59"0 神戸 2'02"5	神戸 2'00"2 大阪 "	神戸 2'01"8 大阪 2'06"1	
800m継泳	神戸 10'42"0 大阪	神戸 11'17"2 大阪 11'36"4	神戸 11'15"0 大阪	神戸 11'21"4 大阪 11'39"0	神戸 10'48"9 大阪 11'32"4
400m継泳			(39回より200m継泳 は400m混継泳になる)		大阪 5'20"8 神戸 5'22"9
競泳優勝校	神戸 83-57	神戸 79-61	神戸 102-59	神戸 94-67	神戸 96-65
水球優勝校	大阪 12-4	大阪 7-1	大阪 7-5	神戸 3-0	大阪 5-4

## 最 高 記 録 表

種 目	タイム	氏 名	年 度	回 数	場 所
50 m 自	28" 4	野 村 弘 (神戸)	昭和 8年	14回	神戸市民プール
100 m 自	1' 02" 2	浜 川 広 海 (神戸)	昭和 26年	32回	宝 塚 プール
200 m 自	2' 39" 8	金 森 文太郎 (大阪)	昭和 4年	10回	浜甲子園プール
400 m 自	5' 33" 9	細 田 忠 雄 (神戸)	昭和 31年	37回	六甲台 プール
800 m 自	11' 55" 7	細 田 忠 雄 (神戸)	昭和 31年	37回	六甲台 プール
100 m 背	1' 13" 0	田 淵 五 郎 (神戸)	昭和 27年	33回	六甲台 プール
200 m 平	3' 03" 8	小 山 賢之助 (神戸)	昭和 4年	10回	浜甲子園プール
200 m 蝶	2' 56" 8	石 原 巖 (大阪)	昭和 27年	33回	六甲台 プール
200 m 継	1' 57" 6	大 阪 (繁沢、小西、 平田、永田)	昭和 28年	34回	大阪小 プール
400 m 継	5' 06" 0	神戸	大正 15年	7回	大阪市立プール
800 m 継	10' 42" 0	神 戸 (富岡、田淵、 村田、松田)	昭和 27年	33回	六甲台 プール
400 m 混継	5' 20" 8	大 阪 (東野、山崎 西村、汐見)	昭和 33年	39回	六甲台 プール

(註)

不明の箇所は空白とした。

## 寸 筆

学5 小池 三郎

小生は至つて元気、忙しい忙しいで毎日過していますが、時折、近所の室内プールで家族と泳いでおります。新緑の樹蔭より蟬の音がきこえる。部員が未だ冷たい水に飛び込み、練習に励んでいるとお便り、ほんとうに懐しく思います。大いに頑張つて下さい。頑張りこそ勝利の近道。

学7 伊藤 英二

目下、日産船舶の代表者として毎日極めて多忙です。ゴルフをやる暇もない位、今度浜川君が日産汽船から手伝いに来るので、当社の凌泳人は榊原君とも計三名です。小生仕事の関係で毎月平均一回の割で関門、阪神を歩いています。プールへ立寄る事が仲々大変な決心と合間が要るので永い間御無沙汰しています。

学7 大田 正元

東京へ転動してから約二年になります。関西の諸兄、お元気ですか。

此頃は水泳の方はすっかり御無沙汰、岡に上つた河童です。御健斗を祈る。

学11 柏木 慶三

大垣に参つて四年、水泳から少し遠ざかつた格好にて、田舎暮らしに毎日を送っています。昨年は犬山へ参り一日川泳ぎに過しましたが、神戸にいた頃と比べ機会と場所に恵まれぬ環境のため、凌泳会に御無沙汰ばかりしています。

毎年のことながら次々と泳ぐ人が増加してゆくのをみると毎年の名簿が来るのが非常にたのしみです。

学12 木村 京一郎

山国の会津生活も十余年たちました。此処会津若松にも東北一の五十米プールがあります。水泳のレベルは至つて低い、昨年まで高校水泳部の顧問として毎日水に親しんでいました。大阪市大戦も四十回を迎えるとか、六甲台のプールの生活が懐しく思い出されます。旧制高校時代の悲愴な想出はなく、六甲台でのそれは余り負けたという記憶もなく、水泳をエンジョイ

した楽しい生活だつた様に想出されて来ます。

学<sup>22</sup> 山本幸雄

昨年十二月より名古屋支店に転勤、棉花のセールスマンとして、中京地区の紡績にいちめられていきます。

専<sup>1</sup> 今井政一

諸兄の連絡に接する毎に、昔泳いだ六甲台、松蔭女学院、宝塚、甲子園、一橋等の各プールでの練習或は試合の思い出が髣髴として浮んで参ります。

小生相変わらず広島の方で会計とか申す余り面白くない仕事に明け暮れ、夏には出来る限り機会を見出し、遊泳は致しております。勿論ダツシユでもすれば五米もすれば浮く様な始末で、若さが懐しくなる様な年令に達したかな、の感があります。

新<sup>1</sup> 天野博行

小生只今シエル石油特約店として、油の販売を行つています。水に浮く処は河童時代と変わりありません。

新<sup>2</sup> 小原祥男

御堂筋の銀杏並木の新緑が五月雨に濡れて一段と映えている

のを、オフィスの窓から眺めていると、六甲台の新緑に囲まれたプールの水の冷さを憶います。学窓を出て六年目、商大戦は四十回を迎えたようですが、当日は元気な現役諸兄にお目にかかる積りです。

新<sup>3</sup> 石本茂樹

小生淋肥腺結核にて五月二十二日より共済組合虎ノ門病院へ入院しています。チョチョット手術してもらつてすぐ退院するつもりでしたが、白血球が異常に少い、とかいつて入院以来四日間、何の薬もくれずにほつたらかして退屈しています。諸君も身体に注意して下さい。放射能雨のプールで泳いだせいかも知れませんか、諸君も白血球を調べて貰われては……。

新<sup>6</sup> 岡見晴児

小生、此度門司営業所転勤に決りました。彼地の先輩諸氏にお逢いしたく思つております。

新<sup>7</sup> 河村雅彦

まさかこちら(鎌倉)へ来るとは思いませんでした。全く突然の事で一層心残りです。せめてだれか一人でも同輩がこちらへ来てくれたらと思つています。その上今年には東京へ一度も来ない

との事、全く淋しいことです。

ポロの方も試合が多くなつて大変でしようが、シーズン中は全員一致協力して頑張り抜いて下さい。

新々 谷 和 郎

一週間ずつ勤務時間が変わりますので、思つた様に新緑若葉の京都見物も出来ず、全く娯楽時間のない単純な毎日毎日を通しておられます。人間何といつても身体が資本ですから、少々のことにはヘコたれない強い身体と忍耐力を毎日の練習や、きびしい合宿中の生活を通して養つておかれると思います。

新々 山 本 哲 弘

小生、三日の総会には参加する予定でありましたが、二日に急に東京勤務が決定致しまして四日より東京支社の方に勤務致しております。上京以来早や、半月が過ぎ去りましたが、未だに東京に慣れなくて困つております。

### 昭和33年度 凌泳会収支決算書

#### 収 入 之 部

前年度繰越金	16,221-
凌泳会会費	104,700-
会合費	11,300-
計	132,221-

#### 支 出 之 部

水泳部援助	84,000-
通信費	4,767-
交通費	3,373-
印刷費	6,330-
会合費	14,225-
残高	19,526-
計	132,221-

## 昭和33年度 水泳部収支決算書

取 入 之 部		支 出 之 部	
前年度繰越金	620-	水連加盟費用	2,700-
水泳部々費	55,100-	試合費用	3,670-
凌泳会援助	84,000-	合宿費用	89,058-
育友会援助	12,525-	東京遠征費用	48,610-
旧三商大戦援助	3,000-	交通通信費用	2,815-
(一橋大学より)		印刷品費	3,688-
会合費	12,700-	薬品費	350-
雑収入	6,059-	代費	2,180-
計	174,004-	雑費	17,040-
		高	2,995-
		計	898-
			174,004-

## 昭和34年度 凌泳会予算案

取 入 之 部		支 出 之 部	
凌泳会会費	75,000-	水泳部援助	65,000-
会合費	15,000-	通信費用	6,000-
前年度繰越金	19,526-	交通通信費用	6,000-
計	109,526-	印刷品費	10,000-
		会合費	17,000-
		雑費	5,526-
		計	109,526-

## 昭和34年度 水泳部予算案

取 入 之 部		支 出 之 部	
水泳部部費	40,000-	水連加盟費用	2,700-
凌泳会援助	65,000-	試合費用	5,000-
育友会援助	10,000-	合宿費用	85,000-
会合費	12,000-	三商大戦援助	3,000-
雑収入	5,000-	交通通信費用	5,000-
前年度繰越金	898-	通信費用	4,000-
計	132,898-	印刷品費	1,000-
		代費	4,000-
		会合費	15,000-
		雑費	8,198-
		計	132,898-

## 今シーズンの展望

新<sup>8</sup> 主将 永田 一彦

先日も誰かが云つて居た。「俺の生活はプールを中心とする軌道の上を廻っている。」などと。一時に始まる練習を終え、六甲の返道をトボトボ降り来つた頃には、初夏の日も早や黄昏といった毎日である。

出席係なるものがロッカーの壁一面に大きな出欠表を掲げて、丸、バツテンを記入して行く。出席率が一定の限度を越えて悪い者は、自発的退部という不文律が何時のまにか出き上り、部員たるもの嫌が応でもプールサイドに足を運ばねばならない。近頃はそれが習慣化したらしく、プールに顔を出さない日は、何か悪事を犯したかの如くに寝付が悪いといった連中が続出する始末である。

目下、練習は競泳三、水球一の比で行っているが、漸次水球の割合は増大することとなる。

競泳で目立つことは、平泳陣の充実である。昨シーズン来好調の四年村岡、フオーム変更の甲斐あつた二年萩原、高津高より新入部の一年松井の三者は全く互角の実力を持ち、練習中の

競合いは激烈を極める。三者揃つての上位入賞は確実である。

自由型陣は昨年と変わりない。短距離は四年永野、太田、三年野田と居るが、これといった切札はない。練習熱心の野田は、近頃ベスト記録続出に張切つてはいるが、今ひとつの迫力に欠く。今シーズンの彼の活躍如何が得点に大きく影響するだろう。太田の進況著しく、その真面目な態度は部員に示唆を与える所が多い。長距離は昨シーズン、異常な程の進況を為した二年高岡が居る。相変らずの強みで上位入賞をとげるだろう。これに続く者が居ないのは残念だが、二年米田、浅間ら若手に期待を置くの外はない。

数年来「神戸の背泳天国」を誇つて来たが、遂にその席から脱落を余儀なくされそうだ。二年井上、北野高より新入部の大西は一応の泳ぎは見せるが、決め手とは云い難い。

伝統の種目だけに何とか、彼等の奮起により面目を保ちたい。蝶泳陣は、決意に燃えて転向したヴェテランの三年酒井が居る。これ又、期待に込めての上位入賞をとげて呉れるだろう。

総じて云えることは、今シーズンも例年と異なることなく、他校に比し、絶対量を誇る練習によつて培つたオルラウンドな陣容で各試合を闘い抜かねばならぬことである。即ち、大量得点源たる自由型での優位は望めず、むしろ平泳など他種目の得点に自由型のそれが附加されるといった傾向にある。

当面の敵として、大阪大の強力な自由型陣との対決こそ、今シーズンの最大の課題である。

水球は、パス、ドリブル、シュートなど基本練習を終え、フオーメーションに入る段階に於て、ハタと行きずまつてしまつた。一橋大に比し、何分刺戟が少く、水球の真髓に触れる機会に恵まれない関西に位置する以上、彼等に倍する努力を要することを痛感する。

昨シーズンとは比較にならぬ程の精力と時間を費している積りではあるが、水球何物なるかを知らずして、水に暗中摸索を続けている状態にあると云つても過言ではない。

御大四年奥野を中心として、原、杉岡、黒田、上村など、或時は創意工夫に、或時は参考書にと熱心に水球を知らんと努力を続けては居るが、思うに最も切実なのは適当な指導者を持たないことであろう。競泳とは異なり、水球は或るシーズンに於て、戦術その他の技巧をマスターするなら、それは次のシーズン、後に続く世代へと受け継がれて行くに違いない。

水球に於ける先輩、同好の諸氏の御忠告、御支援を切にお願いする次第である。  
(五日二十日)

マネージャー  
新10 岡 田 重 義

水泳部に入つて二年目を迎えやつとプールの水にも親しみを

感じて来るようになった今年から前任宇賀さんの後をうけてマネージャーを務めることになりました。まだ西も東もわからないところを栄川、宇賀岡先輩の暖い指導の下に一生懸命仕事を覚えることに務めて居ります。生来呑気な性質でマネージャーなどともなれないと思つて居たのでありますがやると決まつた以上、マネージャーであることに務めたいと思つて居ります。幸い部員一同の協力もありまして共に泳ぐ時間も持てること云う恵まれた境遇に居りもしますし総ての面に全力をつくして事にあたりたいと考えて居ります。なにぶんなれませんが不行届な点は非常に多いと思ひますがよろしく御指導御鞭撻下さいますよう御願ひ致します。

最 後 ま で

新8 村 岡 英 樹

過去三年間の練習日誌を眺めていると、思わず微笑が浮ぶのを禁じえない。何と遅かつたことか、あんな記録がどうして嬉しかつたのだろう。甚だ遅かりし自分を振り返つて、恥しく思う気持よりも、苦しかつたが懐しい記憶として蘇つてくる。プールで過す日数が増すに従つて、水に愛着を覚え始めた自分、何

とか速くならぬものかと、ノートを作り、タイムを分析し、今週は何秒で泳ごうと企てるが、仲々こちらの思い通りには万事旨く成らぬものだ、と日夜苦悶していた自分、水泳以外には喰うことしか念頭に無かつた自分、その自分が何時の間にか、泣いても笑つても最後のシーズンを迎えることに相成つた。

さて、価格が需要と供給との比例関係によつて決定されるといふ経済の原理は、わが神大水泳部に於ても成立するものらしい。即ち、自分はこの春休みに、伊豆の峯温泉プールでの合宿に参加したお蔭で、頗る好調なのであるが、団体出場の大物、松井君が現われたし、萩原、柳本両君も、ぐつと充実振りを見せて居るので、自分が昨年に較べて一段と良い記録を続出せるにも拘らず、一向に、驚いたという風もなく、むしろ過当競争から落伍するのではないかと、心を痛めて呉れるものもあるらしい。

何糞、自分はこう叫び度い。今年は速くなれそうだ、という抱負がある、全力を尽そうという意気込がある、敗れても頑張ろうという可憐さがある。そもそも水を掻き分け掻き分け進むことに熱中するのは、何の為だか解らないのではあるが、虫の報せと云うか何か知らぬが、そうせよ、と我が心に囁く声があるので、今シーズンも我武者羅に泳ぐことにした。

最後に今年の対外成績は如何か。それは部員の秩序ある積極

的な練習態度に懸つていと云えよう。確かに有能な先輩を送り出したことは、大きな損失であるが、各自が永野主将を中軸として練習に励むという、簡単なことを実行しさえすれば、昨年以上の成果を収め得るものと信ずる。さあ、泳ごう、泳ごう。

## 温泉プールの恋情

新 奥野吉矩

ある晴れた日、丁度桜が満開の頃、我々水泳部一行九名は一路伊豆半島を南下しつゝあつた。夢にまで見た温泉プールでの合宿、いつもの合宿と違つて皆の表情は明るく、何か期待にあふれていた。南国の海は飽まで青く、淡い旅情をたゞえた山々、我が世の春をうたう桜、みかん。今旅をしているんだという感じが始めて湧いてくる様であつた。

目ざす温泉は、半島を二、三時間下つたところ、想像していたのとはかなり違つた場所であつたが、これが温泉だ、といわんばかりの噴泉が二本、真白い蒸気をふき上げていた。その外は、どこにでも見られる温泉街の風景、気分がよかつたせいいか何となく好感のもてる場所であつた。神戸より遙か十五時間余、ようやくたどりついたその夜は、プールにつかる程度で終

つた。「明日から練習開始」といわれても、どうもピンとこない。合宿というより、遊びに来たという感じがびつたりする様であつた。

翌日から、早速練習開始、やはりこうなつてみると、「しんどい」という感じが一度に浮んできた。いざ泳いでみると、驚いたことに、いつものシーズン始めの、あのつらさというものが感じられなかつた。誰の顔を見ても、皆ケロットしている。やはり水が温かかつたせいであろうか。その後、練習量も最盛期には、一日五〇〇〇米という真夏の合宿なみであつたが、あまり疲労感を感じられなかつた。その時は、練習量が少なすぎる、との不満の声が出るという珍現象が起つたほどだ。この様なことは、実はあたり前、というのもプールから上れば、すぐ横には温泉が待っている、という調子で、疲れた身体も、またたくうちに、回復するようであつた。六甲のプールがこれだけ温かければ、一日一万米でも泳いでやる、と皆大見栄を切つたものだ。

まだシーズン前ということもあつて、練習は実に愉快で、こんな楽しい合宿は始めて、というのが、全員一致した意見であつた。

それになお、我々を慰めてくれたのは、旅館のよきサーヴィスぶりであつた。人があまり来ないせいであろうか。それにも

増して、特に印象的であつたのは、旅館のある *Madacher*、一週間という短い滞在期間であつたが、特に熱しやすい性質からであろうか、一目見た時………という言葉があるが、どうもそれらしい。ある大学へ行つた、ある国の王子様の如く、淡い恋情をいだきながら、後髪をひかれる思いで去らなければならなかつたあの時、しみじみと語り合う機会があまり無かつたのは、非常に残念であつたが、でもこれが人生、「忘れ得ぬ人々」の一頁をかざることであろう。

今六甲の冷いプールで泳いでいる時、あの温泉プールが、恋しく想われるにつけ、かの淡い恋情がこみあげてならない。

## 雑 感

新 8 太 田 謙

いつの間にか我々にも卒業が一年足らずの内に迫つてきているがこの大学での生活を振り返つて意外に思えるのは、想い出となるものの案外に少い事である。一体この三年間を何に過してきたのかと思ひ返しても二、三の旅行とプールサイドのもようが浮び上つてくる程度で情ない。

このプールにも水が冷いの底が見えぬのと、二年生の夏以来

暑いにつけ冷いにつけてのおなじみであるが、ただずい分泳いだなあとプールのようすがぼんやりと脳裏に浮ぶ程度で泳ぐ事がまるで自分の日常生活の当然の一部に化したかのように思える。

二年生の六月に入部した頃にはあわよくば、『フジヤマのトビウオ第二世になつてやろう』とてんで身の程しらずな空想を描いていたものの泳ぐ度毎に夢は破れ、なんとか一度だけでも四百米を六分を切つて泳ぎたいとの望みも未だ七分以上かかるようでは日暮れて途遠しの観ありて空しく破れそうである。他人の泳ぎを見てみると「何だあの通りやればいいのだな」と思うのであるがいざ自分で泳いでみると全然うまくゆかず我ながら自分の鈍さが情なくなる。然し自分が全力を尽しさえすれば悔いる所はない筈だと考えて心安んずる事している。今年には春休みの伊豆合宿に引続いて四月中旬から練習しているが冷い冷いとぼやいている内にいつのまにかもう一月たつてしまつた。来月には英海兵とポロの試合を行うと云う珍しく国際色を加える事になりそれが私達のポロ強化への刺戟になればありがたい事だ。又大きく言つて我水泳部が日英親善に役立つ事が出来れば大変嬉しい。それは別として何とかデツカイ英兵をへこましてやれればと思う。それに今年には永野キャプテンや奥野ポロ主任以下ポロ強化に力を注ぎ我々部員一同もつたないなが

ら練習もやつているから三商大戦にはうんとはり切つてポロでも今年こそ勝ちたいものだ。

シーズン中は学校生活の大部分を水泳部で過す事になるがほんとにいいなと思うのは、一応に泳ぎに打ちこめると云う事である。何事であれ一事に打ちこめるものを持つていと云う事自体結果は別としてもほんとうに張合のある事だと思ふ。これから九月迄五カ月足らずではあるが私達四年生にとつては、最後のシーズンであり何とかダレることなしに立派にやり終えたいと思つています。

## 北海道に遊んで

新 8 杉 岡 孝 一

私は昨年の夏、友達五人と北海道へ出かけた。テントを持ち、リュックサックの中に米とハンゴウをつめての旅行であつた。各人の服装は登山帽とポロシャツである。全く色気なかつた。東京から、鈍行で青森につき、真夜中の津軽海峡を、船底で、うつらうつらとしながら渡つた。函館についたのが、朝の四時頃であつたと思う。北海道の朝は夏と云つても寒い、セーターを着ても、まだふるるとふるえがとまらなかつた。

北海道の人々は我々を、内地の人と呼ぶ、従つて、我々は外地へ来たわけだ。

外地での第一泊は、洞爺湖であつた。湖の水は冷めたい。

第二日目は、雨の登別であつた。こゝは東洋一の規模をもつ温泉だそうだ。雨が激しく降つた為、我々はうわさに聞く風光の美しさを見るのを、あきらめて、男女混浴の温泉での壮観を楽しんだ。こゝには温泉プールがあつた。仲々いゝプールである。プールのそばにはいくつもの成分の異つた温泉がたゞえられてゐる湯舟があり、男女がその中にたむろしてゐる。我々は水泳着を持つてこなかつたので、タオルでビキニ・スタイルとしげこみ、競泳をやることになつた。こゝで水泳部の賞録の見せどころだ。学校ではいつも、しんがりばかりでもがいてゐる私にとつて、ウツブンのほらしどころでもあつた。リレーをすれば無論アンカーをつとめた。十五米位はなれた女子を、ゆうと追い抜き、起死回生をはかるヒーローと、一躍その名をあげたわけである。湯舟につかつていた人々は、この私の活躍にほれほれしてたと信じて疑わない。こゝで泳ぎ方の指導をしたのは無論のことである。

さて小雨に煙る登別をあとに、阿寒国立公園に向つた。私はこの国立公園にあるすばらしい潮で、出来るかぎり泳いでやろうと、胸をふくらませていたのであつた。北海道は何と云つて

も、阿寒が第一であろう。うつそうと茂る原始林、その中に神秘の水をたゞえるいくつもの湖、そして悲しくも美しいアイヌの伝説。この阿寒で私は、摩周湖にはどきもをぬかれた。あの深々と真青な水、何もかもよせつけない姿、これぞまさしく神の姿であろう。湖で泳いでやろうと思つていた私は、こゝでは泳ぎたいという気持は少しもおこらなかつた。いやそれよりむしろ恐しかつた。もしあの水に少しでも身体をつければ、何ものかに奥深く連れてゆかれるのではないか、という恐怖で身ぶるいが止まらなかつた。

恐ろしいほど美しい、とはまさしくこれである。これこそ神の姿であろう。これより我々はマリモの沈む阿寒湖へ、バスにゆられて原始林の中を行くのである。

阿寒湖では心おきなく水泳を楽しんだことは云うまでもない。

## 二つのモットー

新 酒井 孝 栄

一九五九年も、早四月を過ぎ、いよいよ待望の水泳のシーズンがやつてまいりました。四月十六日に入水してから、プールの水の増すのを待ちつゝ横に泳いでおつたのですが、最近よう

やく満水となり、あの楽しくもあり、苦しくもある、又寒くもあり、暖かくもある奇妙な一連の練習ぶりが本格的に始まりました。あゝ、いよいよお始まりか。実になんとも言えぬ気持ちです。しかし、何事も最初が肝心です。それ故今年はその二つをモットーに練習に励み、かつ試合には最善を尽す積りでおります。「一シーズンが無病で過ごすために、衛生学上、可能なかぎりの努力を払う」こと、  
「記録の向上とチームへの貢献」の二つです。まず第一のモットーについては、健康と云うものは、水泳に夢中になつて居る時には案外無視され易いものであり、私自身、大切な試合前に三、四度風邪その他でコンディションを悪くした経験もあるので、今年はずいとも、コンディションの維持に心を配つて、悔いのない試合を数多くしたいものと思つています。さて第二のモットーについては、これは相当な努力を払わねば達成出来そうもない。それは今年より新たにバタを始めることになつたからです。昨年の最後の試合を初舞台に、それまで五年間、慣れ親しんで来たフリーともお別れして、皆さんがあまり歓迎しないバタフライに転向したのですが、今年はどこまでやれるか、心細い限りです。昨シーズン末、バタ陣営の弱体ぶりを歎いていた主将以下、部の首脳陣がバタ陣営強化を目的として、目ぼしい者をつかまえての実演検分の結果、計らずも私とその検分通過賞を頂くことにな

り、しばらくの間はフリーとの兼泳で転向の準備をするということになつてしまいました。この時の転向に関しては、僕自身、多分に色気をもつていたのですが、今にして思えば、随分どうまく「おだてられた」という感がしないわけではありません。それは僕の性質の一部をなすものですが、とにかく僕には「頼まれたら、何とかしなくちや……」の気が多分にあるので、上級生の人達から「おい酒井、お前バタやつてみんか、お前のフォームはなかなかいゝし、伸びる可能性もあるから、一つやつてみんか、どうや？お前がなあ、バタをやつてくれれば部としても随分と助かるんだがな、一つ張切つてやれや」、など、搦め手からじつくりと攻めて来られると、浪曲に涙し、母ものには弱く、恋のあわれさに胸ふさがる男は一たまりもなくおだてに乗せられて、白旗を上げざるを得ないのです。そこで「はい、一つやつてみます、来年は岡村さんという一大得点源が卒業されてしまうし、その穴埋めの為にも大いに頑張つてみます。」などと、いやに威勢のいゝ大ラツバを高らかに吹きながら、転向の承認式を終えたのでした。しかし本格的にやり始めたトタン、一驚きました。その練習の苦しいこと、辛いこと、話にならない。これまでのフリーでは使つたこともない様な筋肉を使うのだから、全く無理もない。二十才すぎた身体は、高校時代のように柔軟性に富んでいないから、腰をはじめ、そこら

一帯がゴリゴリと痛い。フリーのあの楽さは遠い夢に去りにけりでした。バタは傍目でもおわかりの如く、最も体力の消耗が激しいものです。その上呼吸の困難性が著しく高い。バタでは呼吸する場合、排気の方はまずまずですが、吸気のは、ほんの僅か、バツと顔を上げた時だけで、排気に比べて非常に時間が短かく、その為に酸素欠乏の状態が生じ、すぐに身体が参る。

それ故どうしても肺活量が人よりも大でなくてはならないのですが、この点私などは落第ものだろうと思つています。そんな小さい肺をもつてして、何んとか「もの」になろうとすれば、フォームをよくするより他に方法がない。よくいわれているように、水泳の基本条件は第一に「腰が強靱であること」、ですが、私は幸いその点には合格しており、又バタに必要な腰の上下運動をスムーズに行うことも人並に出来ます。私が見込まれたのは、多分このあたりじやないかと思われてなりません。腕が強いということが、表面的理由だつたのですが……。しかし私のこれまでの言動に「腰が強い」とうかがわれる節がおそらくあつたでしょうから、仕方ないと思つております。でもこの強い腰をバタでさらに鍛えて、後日の為にそなえることも、一生の為には随分と必要ですから、心して練習に励む所存でおります。

一生懸命タイムの向上に励んでいたフリーとは、一応お別れ

して、今年バタに専念し、新境地を開拓して行きたいものです。新主将永野さんの統率の下に、何事も部の為を考え、自己本位の我尽を抑え、今シーズンを立派に過ごす決心しております。

## プールサイドで

新10 高岡保宏

今年も又、藤の花が咲いて、シーズンに入ったことを思わせる。今年こそは、八〇〇米に十一分を突破、四〇〇米には五分フラットをマスターせねばならぬと思つていたのであるが、残念なことに、昨年、シーズンオフ以来、耳にかゆみを伴つた外耳湿疹という、やつかいな病気にかゝり、医者通いとしていたのであるが、一向にはつきりせず、今に至つている次第で、本当に弱つている。そして又、やつかいなことに、この間の定期レントゲン撮影に、少しはつきりせぬ点があるので、もう一度撮影しなおしてくれ、と保健係よりの通知に、少なからずショックを受けたのであるが、僕自身少し不思議に思つているのである。というのは、学校の始る前日、僕の町の保健所で、レントゲン撮影をしたのであるが、その時は全然異常を認めず、医者が云つてくれたのと、今回の学校の定期検査の結果とは全

く逆なので、少しおかしいと思つてゐるのである。いずれもう一度撮直してみれば、はつきりするところであるが、もし学校の方が本当であれば（こんなことは考えたくないのだけれど）水、泳とは、永遠にお別れである。こんなことを考えるだけでも、ムシヤクシヤしてくる。しかしまだ望みは失つていないつもりであるが、こうなると祈りたくもなる。プールの藤棚の下で。  
（精密検査の結果、異常のないことが判明）

## 東京体育館プール

新10 山田 貴彦

我々河童にとつては春夏は我が天下とばかり元氣そのものだ  
が、前期の試験が終る十月頃からは冬眠を余儀なくされている。  
しかし日本中を見渡した時、幾つかの温泉プールは冬でも別天地さながらの思いをさせてくれる。志賀高原や伊豆、別府などの所謂温泉の豊富な所にあるのは当然だが、此の東京のど真中に出来た温泉プールで今冬泳ぐ機会を得たので、見たまゝ感じたまゝを少し書いてみたい。

衆知の様にこのプールは昨年のアジア大会の為に東京都が建てたものだが、中央線の千駄ヶ谷駅前に、国立競技場

と並んであり、附近には東京体育館、神宮プール、神宮野球場、秩父宮ラグビー場等があり神宮外苑は特にスポーツの殿堂である。さて此の近代的な建物の二階から二時間八〇円なりの学割切符を買つて入る。普段は観客の出入口である玄関にロッカーを置いて脱衣室にしている。従つてこゝでは誰もガタガタふるえていた。パンツ一丁になつて大きな戸を押し開けて中には入ると、思わず歓声を上げたくなる程の眺めである。七〇〇人を収容出来るスタンドの中腹に出る。冬でもムツトする程の暖かさである。青々とした水をたゝえた五〇米プールと隣りに八角形の飛込み用プールの二つがある。何は兎もあれ準備体操もそこそこに飛込む。手先が丈入れると少し暖いが全身入ると、特に暖かくも冷たくも感じない。水温二九度を一定に保つてゐるので、泳ぐにはもつて来いの適温である。両端は水深一・五米だが中央は二・五米程ある。こんな冬でも泳ぐ連中丈あつて一〇〇名近くの人も若い高校生、学生が大半で女子も二〇〜三〇名はいる。その殆んどが競泳用の水着で、下手に競争すると恥をかく。水は保温、濾過、消毒の為に常に循環してゐる。飛込む所とタインする所はいろいろ研究しやうい様に水深五〇センチ程の所に丸窓があつてガラス越しに外から覗ける様になつてゐる。一時間に一回強制的な休憩時間が五分間ある。この時は全員水から上らなくてはならない。別に何をするでも

なく唯身体を休める為である。こうでもしないと小さな子供は二時間でも平気でつかりっ放しになっている。上に上つて見ると広いプールサイドには五米間隔で大きなルームウォーマーがあつて熱風を吹き込んでゐる。観客席は一方にしかないが、その下には中央に指令室、医務室などから、四〇度近くになつてゐる暖房室、五〇度近い湯がとうとうと流れる風呂から、コールド、ウォーム、ホットとコック一つで自由に流れ出るシャワー等実に到れり尽せりの設備である。照明設備も間接式で自分の影は何処にも見当らない。囲りにあるベンチに座わつて落着いて見るとまだまだ細かな事に気付く。大きな時計の隣りに水温を示す大きな水温計、試合の時に使う大きなストップ・ウォッチ等々。五分間の休憩を終えて、一つ四〇〇米程流すかと思つて飛込んで長い長い五〇米を泳いでターンをしようとしてあわてた。このプールにはオーバーフローが縦にある丈でターンの側にはついていないのである。壁をボーンとたゞいて反動でターンするわけだが、スピードのない僕にはチョット無理だつた。フリーはまだ良いが、プレストなどでは辛いだろうと思う。もつともバックのスタート用に肩巾位の所に二つ取手がついてはいる。さて如何にシーズンオフとは言え自分の身体の鈍つてゐるのには参いつた。四〇〇位軽いと思つていたが、何んとタツタへ五〇米で完全に身体が浮いてしままいどうにもな

らなかつたのには我ながら悲しくなつた。  
熱中すると時間のたつのは速いものだ。もう二時間近くになる。更衣室で大急ぎで服を着替えて外に出ると、関東名物カラツ風の吹く町。思わずオーバリーの袴を立てる。冬の日短かく七時と言えはもう真暗である。突然ビビと夜泣きソバの笛が目の前で鳴る。こいつは商売がうまいわい。

(完)

## 昭和34年度水泳部スケジュール

---

4月 15日	練習開始	
5月 3日	総会	
5月 9,10日	六甲台、姫路合同練習	(於 姫路分校プール)
6月 7日	京阪神三大学対抗競技	(於 大阪プール)
6月 13日	対英国海軍水球戦	(於 六甲台プール)
6月 21日	対京都大学水球定期戦	(於 六甲台プール)
6月 28日	対大阪市立大学定期戦	(於 六甲台プール)
7月 5日	兵庫県学生選手権	(於 神戸市民プール)
7月 15日	関西国公立大学戦	(於 西京極プール)
7月18,19日	全国国公立大学戦	(於 大阪プール)
7月 26日	旧三商大戦	(於 六甲台プール)
9月 3日	近畿地区体育大会	(於 西京極プール)
9月 5,6日	関西学生選手権	(於 大阪プール)

### 合宿予定

7月 6日～13日	六甲台プール
7月20日～25日	六甲台プール
8月26日～9月2日	長谷プール

## 現役部員ベスト・タイム

5月30日現在

	50 m	100 m	200 m	400 m	800 m
Free					
永野	31" 8	1' 15" 4	2' 43" 8	6' 22" 4	13' 38" 0
太田	34" 2	1' 18" 5	2' 54" 2	6' 25" 8	13' 59" 8
奥野	38" 0	1' 30" 2	3' 24" 0	7' 31" 0	15' 42" 0
上村	48" 5	1' 40" 8	4' 06" 0	9' 31" 0	20' 44" 0
黒田	39" 0	1' 31" 4	3' 30" 8	7' 59" 0	17' 09" 5
杉岡	36" 8	1' 31" 8	3' 26" 4	7' 44" 0	16' 19" 0
原	37" 2	1' 23" 4	3' 08" 6	7' 04" 4	15' 21" 0
酒井(孝)		1' 12" 4	2' 48" 8	5' 58" 0	12' 36" 0
野田	31" 1	1' 10" 8	2' 36" 4	5' 55" 8	12' 33" 2
岡田		1' 26" 8	3' 22" 0	7' 52" 0	17' 31" 0
高岡		1' 12" 4	2' 35" 4	5' 47" 5	12' 40" 8
米田		1' 22" 0	3' 03" 0	6' 31" 4	13' 38" 7
浅間		1' 16" 5	2' 50" 8	6' 19" 4	
Breast					
村岡	37" 0	1' 25" 4	3' 10" 2		
萩原	40" 0	1' 26" 0	3' 04" 4		
柳本	41" 0	1' 28" 0	3' 26" 7		
松井	39" 0	1' 26" 0	3' 14" 2		
藤岡	45" 4	1' 41" 4	3' 49" 8		
Butler fly					
酒井(孝)	35" 1	1' 19" 5	3' 03" 6		
夏見	41" 5	1' 34" 0	3' 50" 0		
Back					
宇賀	41" 8	1' 30" 0	3' 27" 2		
井上		1' 27" 4	3' 29" 0		
竹元	57" 0	2' 06" 6	5' 05" 5		
大西	38" 6	1' 28" 0	3' 17" 0		

## 編 集 後 記

- 本年をもつて対市大戦も四十回を迎えることになり、さゝやかながらこゝに特集号を、お送り致します。これが会員諸氏にとつて、当時の思い出を新たにするに力ありとせば、編集子にとつて至上の光榮であります。
- 思えば日本の水泳史、学制の変遷と共に歩んで来たこの定期戦も、当水泳部、凌泳会の発展の歴史でもあつたのです。今後の一層の発展を期することこそは、我々河童連に課せられた課題でありましょう。
- 発行に際して、原稿その他に関して、御多忙中にも拘らず御協力下さった会員諸氏に対して、厚く御礼申し上げます。

多くの玉稿を手にしつゝも、編集子の無能により、立派なものに出来なかつたのが、何よりの心残りですが、後々の為に少しでも寄与するところがあれば、せめてものなくさめです。

(野 田 記)